

▶左が増田翔大さん、右が池田湊さん



津別町相撲少年団が奮闘

第11回わんぱく相撲札幌場所

6月16日、札幌市で開かれた第11回わんぱく相撲札幌場所（兼 第39回わんぱく相撲全国大会予選会）に同少年団の増田翔大さん（1年生の部 準優勝）、池田湊さん（6年生の部 3位）が出演。「次は優勝を目指します」と次の大会に向けた意気込みを語りました。



◀献花を行う追悼式参列者

戦没者を慰霊し世界平和を願う

殉公者追悼式

6月15日、戦没者を慰霊し、恒久平和への誓いを新たに「殉公者追悼式」が役場庁舎健診ホールで行われました。追悼式では、黙祷、国歌斉唱、来賓による慰霊の辞の後、参列者全員が献花を行い、鎮魂の祈りを捧げました。



地域貢献のボランティア

地崎道路株式会社美幌営業所がグラウンド整備を実施

6月10日、地崎道路株式会社美幌営業所が部活動シーズンに向けて中学校のグラウンド整備を実施しました。このボランティア活動は、地域貢献のための活動として今年度初めて実施され、今後も継続的に実施される予定です。



32年振り全道大会出場！

津別野球少年団イーグルスが町長を表敬訪問

5月28日、第53回全道少年軟式野球大会網走支部大会を優勝した津別野球少年団イーグルスの選手と監督・コーチが町長を表敬訪問しました。町長は選手らに、7月26日から札幌市で行われる全道大会に向けた激励の言葉を送りました。



プラスチックごみをなくそう

網走川流域一斉清掃事業

6月16日、網走川流域1市3町（網走市、美幌町、大空町、津別町）で一斉に行う清掃が行われました。本事業は今年で7回目となり、空き缶やペットボトル、タイヤなどが回収され、津別町でのごみの総量は130kgにもおよびました。

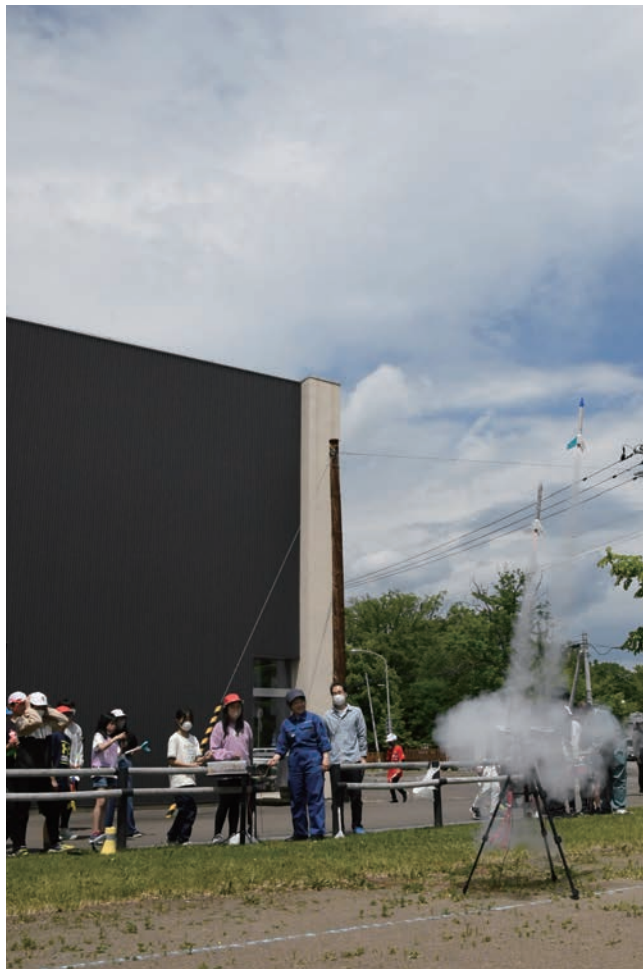


◀左が濱端青年部長、右が加藤央羅さん

商工会が地元スポーツを支援

商工会青年部津別中学校野球部へ寄付

6月17日、津別町商工会青年部は7月15日から開催される第40回全日本少年軟式野球大会全道大会へ出場する津別中学校野球部に対し寄付金を贈りました。キャプテンの加藤央羅さんは「皆さんの期待に応えられるように頑張ります」と力強い決意を述べました。



▲モデルロケット発射実験の様子

ロケットの仕組みを学ぶ

小学校で「モデルロケット教室」を実施

6月11日、小学5・6年生を対象にした「モデルロケット教室」が行われました。講師に、民間で宇宙ロケット開発に取り組む植松努さん（赤平市・株式会社植松電機代表取締役）を招いて、モデルロケットの作成、発射実験、講話の3部に分け実施されました。それぞれが個性あるロケットを作り、勢いよく打ちあがるロケットに、大きな歓声が上がりました。講話では、夢を追う大切さや失敗は悪いことではないこと、「どうせ無理」とあきらめず、子ども達の可能性を広げてくれる講話となりました。また、これに先立つ5月27日、同事業の費用の一部として、津別ライオンズクラブから教育委員会へ10万円の寄付がありました。



▲津別ライオンズクラブからの寄付